



附属病院長

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2022-06-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001297

Conference in Japan; Web. Proceedings. p37.

林紋美, 川島理恵, 蓬田美保, 高瀬佳苗. 看護技術を教授する上で大事にしていること: ドナルド・ショーンの学習理論を用いて. 福島医学会第 485 回学術研究集会; 20201022; 福島.

高瀬佳苗, 蓬田美保. 東日本大震災の被災者支援の看護の実践知を西日本豪雨災害の被災者支援に繋げる. 福島医学会第 485 回学術研究集会; 20201022; 福島.

丸谷美紀, 原田奈穂子, 高瀬佳苗, 奥田博子, 安齋由貴子. 地域の文化に即した災害保健活動—被災者が安寧を感じた保健師の支援. 第 40 回日本看護科学学会学術集会; 20201212; Web.

若松里実, 坂本祐子, 高橋香子. はじめてショートステイを利用する認知症高齢者の適応に向けた看護職の取り組み. 第 40 回日本看護科学学会学術集会; 20201212; Web.

母性看護・助産学部門

論 文

〔原 著〕

Ishii K, Goto A, Watanabe K, Tsutomi H, Sasaki M, Komiya H, Yasumura S. Characteristics and changes in the mental health indicators of expecting parents in a couple-based parenting support program in Japan. Health Care for Women International. 202003; 41(3):330-344.

西郡秀和, 鈴木妙子, 森美由紀, 渡邊一代. 【産婦人科診療ガイドライン産科編 2020 エッセンス 助産師のケアはここが変わる!】シーンで活用 妊婦健診“感染症編”. ペリネイタルケア. 202006; 39(6):615-621.

附属病院長

論 文

〔原 著〕

Park W, Mezquita L, Okabe N, Chae YK, Kwon D, Saravia D, Auclin E, Planchard D, Caramella C, Ferrara

R, Agte S, Oh M, Mudad R, Jahanzeb M, Suzuki H, Besse B, Lopes G. Association of the prognostic model iSEND with PD-1/L1 monotherapy outcome in non-small-cell lung cancer. *British Journal of Cancer*. 202002; 122(3):340-347.

Ozaki Y, Muto S, Takagi H, Watanabe M, Inoue T, Fukuhara M, Yamaura T, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Ohsugi J, Hoshino M, Shio Y, Tanaka D, Nanamiya H, Imai JI, Isogai T, Watanabe S, Suzuki H. Tumor mutation burden and immunological, genomic, and clinicopathological factors as biomarkers for checkpoint inhibitor treatment of patients with non-small-cell lung cancer. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202001; 69(1):127-134.

Okishio K, Morita R, Shimizu J, Saito H, Sakai H, Kim YH, Hataji O, Yomota M, Nishio M, Aoe K, Kanai O, Kumagai T, Kibata K, Tsukamoto H, Oizumi S, Fujimoto D, Tanaka H, Mizuno K, Masuda T, Kozuki T, Haku T, Suzuki H, Okamoto I, Hoshiyama H, Yada N, Ohe Y. Nivolumab treatment of elderly Japanese patients with non-small cell lung cancer: subanalysis of a real-world retrospective observational study (CA209-9CR). *ESMO Open*. 202007; 5(4):e000656.

Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Yamazaki S, Kikuchi H, Oizumi S, Uramoto H, Tanaka F, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Higuchi M, Honjo O, Minami Y, Watanabe N, Nishimura M, Suzuki H, Dosaka-Akita H, Isobe H. Detection of somatic TP53 mutation in surgically resected small-cell lung cancer by targeted exome sequencing: association with longer relapse-free survival. *Heliyon*. 202007; 6(7):e04439.

Hasegawa T, Suzuki H, Abe J, Sakurada A, Endo C, Sato N, Hasumi T, Deguchi H, Oura H, Takahashi S, Saito H, Uramoto H, Sagawa M, Okada Y. A phase 2 study of adjuvant carboplatin plus S-1 followed by maintenance S-1 therapy for patients with completely resected stage II/IIIA non-small cell lung cancer- Japanese Northern East Area Thoracic Surgery Study Group JNETS1302 study. *Journal of Thoracic Disease*. 202007; 12(7):3591-3601.

Morita R, Okishio K, Shimizu J, Saito H, Sakai H, Kim YH, Hataji O, Yomota M, Nishio M, Aoe K, Kanai O, Kumagai T, Kibata K, Tsukamoto H, Oizumi S, Fujimoto D, Tanaka H, Mizuno K, Masuda T, Kozuki T, Haku T, Suzuki H, Okamoto I, Hoshiyama H, Ueda J, Ohe Y. Real-world effectiveness and safety of nivolumab in patients with non-small cell lung cancer: A multicenter retrospective observational study in Japan. *Lung Cancer*. 202002; 140:8-18.

Yamaura T, Muto S, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Inoue T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. Genetic alterations in epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitor-naïve non-small cell lung carcinoma. *Oncology Letters*. 202006; 19(6):4169-4176.

Minemura H, Moriya H, Imai H, Sugiyama T, Yamada Y, Higuchi M, Kaira K, Ozaki Y, Kanazawa K, Yokouchi H, Kasai T, Kaburagi T, Suzuki H, Minato K, Shibata Y. Prognostic value of morphological characteristics assessed by CT scan in patients with non-small cell lung cancer treated with nivolumab. *Thoracic Cancer*. 202012; 11(12):3521-3527.

〔総説等〕

Higuchi M, Suzuki H. Current status and prospect of medical and surgical management for thoracic empyema. *Current Challenges in Thoracic Surgery*. 202011; 2:39.

武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 山浦匠, 福原光朗, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊, 鈴木弘行. 【がん免疫療法のバイオマーカー探索】肺癌における腫瘍浸潤リンパ球の末梢血によるモニタリング. *癌と化学療法*. 202009; 47(9):1287-1291.

鈴木弘行. 1 枚のシェーマ 大動脈弓部・再建胃管浸潤肺癌の 1 切除例. *胸部外科*. 202011; 73(12):1006.

鈴木弘行. 特集 進行期肺癌治療への道ーがんゲノム医療と免疫プレシジョン医療の接点ーⅢ. 免疫チェックポイント阻害薬の進化: 複合免疫療法 周術期治療としての免疫チェックポイント阻害薬の効果. *呼吸器ジャーナル*. 202008; 68(3):440-445.

見城明, 丸橋繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 定期学術集会特別企画記録 第 119 回日本外科学会定期学術集会 特別企画 (6)「外科医にとっての働き方改革とは」 5. 外科医の働き方改革: 特定行為研修修了者の活用に向けた課題と対応策. *日本外科学会雑誌*. 202001; 121(1):102-104.

〔症例報告〕

Higuchi M, Yamada H, Machino K, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Uramoto H, Yamada S, Hojo H, Suzuki H. Successful Multidisciplinary Treatment for Aggressive Primary Pulmonary Undifferentiated Pleomorphic Sarcoma. *Case Reports in Oncology*. 202004; 13(1):385-391.

Muto S, Ozaki Y, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Shio Y, Hashimoto Y, Suzuki H. Successful Treatment of Combined Large Cell Neuroendocrine Carcinoma Harboring an EGFR Mutation with *EGFR* TKIs plus Bevacizumab: A Case Report. *Case Reports in Oncology*. 202011; 13(3):1387-1392.

樋口光徳, 渡部和也, 齋藤拓朗, 渡部晶之, 鈴木弘行. 血清 SCC 抗原の異常高値が測定法によって乖離した胸腺腫の 1 手術例. *日本呼吸器外科学会雑誌*. 202011; 34(7):740-745.

〔その他〕

鈴木弘行. 巻頭言 コロナ禍に想うー野口英世と肺癌治療の進歩ー. *気管支学*. 202011; 42(6):477-478.

鈴木弘行. 編集後記. *日本免疫治療学会誌*. 202011; 8:38.

著 書・訳 書

武藤哲史, 鈴木弘行. 第 2 章 各がんの Q&A 7. 肺がん. In: 日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブックー患者さんご家族のためにー」作成ワーキンググループ 編集. *よくわかるがん免疫療法ガイドブックー患者さんご家族のために*. 東京: 金原出版; 202009. p.76-84.

研究発表等

〔研究発表〕

峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬+化学療法後にサルベージ手術を行い pathological CR であった局所進行肺癌の一例. 第 36 回東北肺癌研究談話会; 20200201; 仙台.

岡部直行, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 当科における胸腺癌に対する外科的切除症例の検討. 第 39 回日本胸腺研究会; 20200215; 札幌.

樋口光徳, 渡部和也, 渡部晶之, 鈴木弘行. 胸腺腫摘出術後も SCC 抗原値の異常高値を持続し, 測定法によって抗原値の乖離を認めた 1 例. 第 39 回日本胸腺研究会; 20200215; 札幌.

鈴木弘行, 海老規之, Klein AB, Kim SW, Zhang L, Berton A, Shire N, Dalvi T, Tajar A. アジア太平洋地域の非小細胞肺癌患者における PD-L1 発現率及び臨床転帰に関する後向非介入試験: 日本人集団. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20200626-27; 誌上. 気管支. 42(Suppl):S205.

武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 左主気管支の deep wedge resection により口径差を調整した, 気管分岐部形成を伴う管状右肺上葉切除術の 1 例. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20200626-27; 誌上. 気管支. 42(Suppl):S246.

樋口光徳, 小泉達彦, 鈴木朋子, 齋藤美和子, 新妻一直, 鈴木弘行. 肺癌術後の気管支瘻を Dumon tube で閉鎖し, 呼吸不全から回復し得た 1 例. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20200626-27; 誌上. 気管支. 42(Suppl):S295.

木村隆, 河野浩二, 鈴木眞一, 横山斉, 鈴木弘行, 大竹徹, 丸橋繁, 田中秀明. Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して—なんでもできる外科医の魅力をもう一度—. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. SP-3-6.

見城明, 遠藤俊吾, 丸橋繁, 鈴木弘行. 特定行為研修を修了した看護師にタスクシフトするための課題と対策. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. SP-6-5.

武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 免疫学的に HOT な肺がんを末梢血から探る試み. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. SF-064-5.

高木玄教, 趙松吉, 武藤哲史, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 栗生木美穂, 譚成博, 下山彩希, 中村康司, 稲野彰洋, 鈴木弘行. 原発性肺癌における Delta-like 1 homolog (DLK1) を標的とした治療開発および臨床的意義. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. SF-064-7.

渡部晶之, 東智仁, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 悪性胸膜中皮腫診断における Claudin15 (CLDN15) の有用性. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. SF-064-8.

岡部直行, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 当科における胸腺癌に対する外科的治療の検討. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. DP-108-4.

樋口光徳, 押部郁朗, 町野翔, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 化学療法後にサルベージ手術を施行し得た IV 期非小細胞肺癌症例の特徴. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. DP-173-4.

峯勇人, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 成人で発見された先天性嚢胞状腺腫様形成異常 (CCAM) の 3 切除例. 第 24 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会; 20200904-05; 誌上. 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌. 20(1):68.

高木玄教, 趙松吉, 武藤哲史, 峯勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 粟生木美穂, 稲野彰洋, 鈴木弘行. 原発性肺癌における治療標的としての Delta-like 1 homolog (DLK1) 検索と新たな治療開発. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):RO6-1.

武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌切除検体に見る腫瘍局所の免疫状態と, 末梢血に見る全身の免疫状態. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):RO6-3.

松村勇輝, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌切除検体から考える免疫療法のバイオマーカーとしての三次リンパ様構造. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):RO6-4.

岡部直行, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌, 左房進展に対して, 人工心肺下に左房合併右上中葉切除を施行した 1 例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):V9-1.

渡部晶之, 東智仁, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩豊, 杉本幸太郎, 千葉英樹, 鈴木弘行. 悪性胸膜中皮腫診断における抗 Claudin15 抗体の有用性. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):O26-3.

山浦匠, 尾崎有紀, 鈴木弘行. 当院での 80 歳以上の高齢者肺癌手術の検討. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):O34-3.

山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 武藤哲史, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 気管支鏡検査後自然消退し、4 ヶ月後再増大を認めた扁平上皮癌の一例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):MO8-9.

樋口光徳, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. stage IV 非小細胞肺癌に対して Pembrolizumab の投与にて病理学的完全奏功が得られた 2 手術例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):MO14-9.

猪俣頌, 山浦匠, 鈴木弘行. 鑑別に苦慮した胸腺リンパ濾胞性過形成の一例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):MO46-5.

長谷川剛生, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害剤併用化学療法後に完全切除し得たサルベージ手術の 2 例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):MO54-8.

峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 乳幼児期以降に発見された先天性嚢胞状腺腫様形成異常 (CCAM) の 3 切除例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):MO62-7.

岡部直行, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. Durvalumab 完遂後残存腫瘍に対して再生検を施行し腫瘍の残存を認めた一例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20200929-1012; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 34(3):MO66-8.

松村勇輝, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩豊, 樋口光徳, 鈴木弘行. 複合免疫療法後に病理学的完全寛解を得られた非小細胞肺癌における病理学的, 免疫組織学的検討. 第 79 回日本癌学会学術総会; 20201001-03; 広島/Web. 日本癌学会総会記事 79 回. OJ12-4-2.

武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における腫瘍浸潤リンパ球の多寡は, 末梢血の活性化 CD4 T 細胞の割合と関連する. 第 24 回日本がん免疫学会総会; 20201007-09; 札幌/Web. プログラム・抄録集. 169.

松村勇輝, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩豊, 鈴木弘行. 局所進行非小細胞肺癌に対して複合免疫療法後に手術を施行し, 病理学的完全奏功 (pCR) であった 2 例の病理・免疫組織学的検討. 第 24 回日本がん免疫学会総会; 20201007-09; 札幌/Web. プログラム・抄録集. 177.

高木玄教, 山口光, 峯勇人, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. リンパ節の強固な癒着が見られた胸腔鏡下右下葉切除後に中葉気管支瘻を生じた一例. 第 30 回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会; 20201010; Web.

山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の使用経験. 第 32 回ふくしま免疫フォーラム; 20201019; 福島.

山口光, 松村勇輝, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. Pembrolizumab 単回投与後、間質性肺炎で投与中止後も長期間奏功維持した肺 LCNEC の 1 例. 第 58 回日本癌治療学会学術集会; 20201022-24; 京都/Web.

武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 末梢血から探る, 肺癌局所の免疫環境. 第 61 回日本肺癌学会学術集会; 20201112-14; 岡山/Web. 肺癌. 60(6):487.

峯勇人, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. ロボット支援下手術は低侵襲手術か. 第 61 回日本肺癌学会学術集会; 20201112-14; 岡山/Web. 肺癌. 60(6):591.

松村勇輝, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 長谷川剛生, 塩豊, 樋口光徳, 鈴木弘行. 複合免疫療法後に病理学的完全寛解を得られた非小細胞肺癌における病理学的, 免疫組織学的検討. 第 61 回日本肺癌学会学術集会; 20201112-14; 岡山/Web. 肺癌. 60(6):597.

山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺クリプトコッカス症を合併し異所性 ACTH 症候群をきたした肺カルチノイドの 1 切除例. 第 61 回日本肺癌学会学術集会; 20201112-14; 岡山/Web. 肺癌. 60(6):682.

山浦匠, 穴沢予識, 山口佳子, 鈴木弘行. 局所進行非小細胞肺癌に対する Durvalumab の治療成績. 第 61 回日本肺癌学会学術集会; 20201112-14; 岡山/Web. 肺癌. 60(6):701.

高木玄教, 武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 宗教上の信条で輸血を拒否する症例への肺切除術の検討. 第 61 回日本肺癌学会学術集会; 20201112-14; 岡山/Web. 肺癌. 60(6):786.

武藤哲史, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法に向けた取り組み. 第 33 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20201119-20; Web/誌上.

〔シンポジウム〕

大瀧容一, 清水公裕, 鈴木弘行, 鈴木健司, 坪井正博, 光富徹哉, 高尾仁二, 村川知弘, 伊藤宏之, 吉村健一, 岡田守人, 千田雅之. 原発性肺癌に対する分子標的治療後局所再発・残存病変に対するサルベージ手術. 第 120 回日本外科学会定期学術集会; 20200813-15; Web. 抄録集. PD-2-5.

鈴木弘行. 肺癌診療の現状と課題—臨床医が AI に求めるもの—. 第 58 回日本癌治療学会学術集会; 20201022-24; 京都/Web.

大瀧容一, 清水公裕, 鈴木弘行, 鈴木健司, 坪井正博, 光富徹哉, 高尾仁二, 村川知弘, 伊藤宏之, 吉村健一, 岡田守人, 千田雅之, 日本呼吸器外科学会. TKI 治療後の局所再発・残存病変に対するサルベージ手術—術後経過からその意義を考える—. 第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20201029-1101; 名古屋/Web.

樋口光徳, 鈴木弘行. 肺癌検診における AI 技術の導入. 第 61 回日本肺癌学会学術集会; 20201112-14; 岡山/Web. 肺癌. 60(6):504.

鈴木祿貴, 西山恭子, 石岡賢, 尾崎有紀, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 錫谷達夫, 鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬 (抗 PD-1 抗体) による免疫療法と腸内細菌叢の関係. 第 33 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20201119-20; Web/誌上.

〔特別講演〕

鈴木弘行. がん免疫療法の進歩と最新の話題. Fukushima Onco-Cardiology Seminar; 20201216; 福島/Web.

〔招待講演〕

鈴木弘行. 当院が考える医師の働き方改革. 第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20201029-1101; 名古屋/ Web.

鈴木弘行. 特別発言. がん診療に携わる人の為の遺伝子パネル検査セミナー in 福島県; 20201217; 福島/ Web.

〔その他〕

鈴木弘行. 「rfc 命を守るキャンペーンーふくしま ゼロ アクション」出演. ラジオ福島; 20200420; 福島.

鈴木弘行. Panel discussion パネリスト. I-O Next Steps Seminar; 20200711; 東京.

鈴木弘行. 症例発表・ディスカッションタイム パネリスト. 福島県肺がんシンポジウム; 20201015; Web.

医療情報部

論 文

〔原 著〕

Kikuchi T, Mimura K, Ashizawa M, Okayama H, Endo E, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Shimada K, Yoshimura K, Tsunoda T, Kono K. Characterization of tumor-infiltrating immune cells in relation to microbiota in colorectal cancers. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202001; 69(1):23-32.

Ujiie D, Okayama H, Saito K, Ashizawa M, Aung Kyi TM, Endo E, Kase K, Yamada L, Kikuchi T, Hanayama H, Fujita S, Sakamoto W, Endo H, Saito M, Mimura K, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. KRT17 as a prognostic biomarker for stage II colorectal cancer. Carcinogenesis. 202007; 41(5):591-599.

Sakamoto W, Ohki S, Kikuchi T, Okayama H, Fujita S, Endo H, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. Higher modified Glasgow Prognostic Score and multiple stapler firings for rectal transection are risk factors for anastomotic leakage after low anterior resection in rectal cancer. Fukushima Journal of Medical Science. 202004; 66(1):10-16.

Nakayama Y, Mimura K, Kua LF, Okayama H, Min AKT, Saito K, Hanayama H, Watanabe Y, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Suzuki Y, Ichikawa D, Yong WP, Kono K. Immune suppression caused by PD-L2 expression on tumor cells in gastric cancer. Gastric Cancer. 202011; 23(6):961-973.

Matsumoto T, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Nakano H, Endo E, Kase K, Ito M, Yamauchi N, Yamada L, Kanke Y, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. Th